



4. 調査内容

4-1. 調査対象

アジア圏の英語が理解できる大学生に調査を行った

理由

- ① 先行調査の動機より、アジア圏に限定
- ② 質問文が英語である為、正しく理解する力を要求
- ③ 回答の協力を得やすい大学生を対象にすることで、調査集団のばらつきを抑えた

4-2. 調査対象

- ・調査対象となった各国の大学
ベトナム 外国貿易大学
インドネシア ビヌス大学
カンボジア 王立プノンペン大学
日本 上智大学

4-3. 調査方法

・依頼方法

各大学の代表者に調査内容について英語で説明したWordファイルに、Google Formを追加したものを送付

・調査期間

約2週間の回答期限

・目標の回答数

各国、30までの回答

4-4. 質問内容

1. ほとんどの面で私の人生は私の理想に近い。
2. 私の人生の状態は優れている。
3. 私は自分の人生に満足している。
4. 私が人生に求める大切なものはこれまでに得てきた。
5. もう一度人生をやり直すとしても、ほとんど何も変えようと思わないだろう。

4-5. 回答のスコア化

先行研究と同様、本研究もスコア化をする

7段階の回答を以下の通りにスコア化して、合計を比較する
合計の数値が高い程、人生満足度尺度が高い

「強く同意しない」	→1
「同意しない」	→2
「わずかに同意しない」	→3
「どちらでもない」	→4
「わずかに同意する」	→5
「同意する」	→6
「強く同意する」	→7